

幼保連携型認定こども園聖十字幼稚園 2021年度 教育及び保育の内容に関する全体的な計画 (編集作成 : 聖十字幼稚園園長)

2021年4月1日現在

事業の目的		小学校就学前の子どもに対する教育及び保育並びに保護者に対する子育て支援の総合的な提供を推進するための措置を講じ、もって地域において子どもが健やかに育成される環境の整備に資することを目的とする。				運営の方針		本園は、キリスト教精神に基づく教育及び保育の一体的な提供を通じて、乳児及び幼児(以下「園児」という。)が神からも人からも愛されていることを知り、自らも人やすべて命ある存在に愛を注ぐ人へと成長していくよう、園児にとってふさわしい生活・遊び・活動の充実を図る。また、本園は、就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律(平成18年法律第77号。以下「認定こども園法」という。)及び子ども・子育て支援法(平成24年法律第65号)、その他の関係法令並びに関係条例を遵守して運営する。				
教育・保育方針		「愛のうちに喜びをもって生き、自分の力で発見し、つくり出しつつ、みんなと共に伸びゆく子ども」 ① 保育者は一人ひとりの子どもの気持ちや思いをありのままに受け入れ、探究心が膨らむような「遊びこむ」環境作りに努める ② 子育て仲間として保護者同士のつながりを大切に、園と家庭とが連携して子どもも大人もみんな育て合う関係性を大切にする ③ 幼児教育と保育・養育との連携が子どもたちの生活の質を高め、平和な社会・世界を創り出している人へと成長する歩みを支える				園の教育・保育目標		キリスト教精神に基づいた保育・教育を行い、全ての人・物・事柄に優しく感謝できる心を養う。 日々の遊びと生活体験を通して、探究心や想像(創造)力など生きるうえで大切なさまざまな力を育む。				
子どもの教育及び保育目標(学年の重点) (保育目標・保育の内容ともに年間指導計画の基礎事項・年間指導計画・行事のねらいは別紙)		乳児	生理的欲求を満たし生活リズムをつかむ	3歳児	身近な仲間や自然等の環境と積極的にかかわり、探求心と意欲を持って活動する	教育・保育時間		<ul style="list-style-type: none"> ・1号認定:標準保育時間→8:30~14:00 ・2・3号認定:基本保育時間→標準時間 7:30~18:30 短時間 8:30~16:30 ・一時預かり(幼稚園型)→7:30~8:30 14:00~17:00 ・一時預かり(一般型)8:30~16:30 				
		1歳児	行動範囲を広げ探索活動を盛んにする	4歳児	探求心を育成し、信頼感を深め、仲間と共に感情豊かな表現をする	主な園行事		入園式/始業式/誕生会/健康診断/保育参観日/運動会/プール開き/七夕/夏祭り/お泊り保育/クラス懇談会/子育て講演会/祖父母参観日/遠足/社会福祉施設訪問/口頭詩の会/焼き芋パーティ/クリスマス会/豆まき会/個人面談/カーニバル/卒園児を送る会/卒園式/終業式				
		2歳児	探求心を大切に象徴機能や想像力を広げる	5歳児	集団生活の中で自立的・意欲的に活動し、個々の探求心から体験を積み重ねる							
キリスト教保育とその目指すもの			特別支援教育・保育			小学校との接続		家庭との連携		発達の連続性を保証するカリキュラム作成		
キリスト教保育とは…子ども一人ひとりが 神によって命を与えられた者として、イエス・キリストを通して示される神の愛と恵みのもとで育てられ、今の時を喜びと感謝をもって生き、そのことによって生涯にわたる生き方の基礎を培い、共に生きる社会と世界をつくる自律的な人間として育つために、保育者が、イエス・キリストとの交わりに支えられて共に行う 意図的、継続的、反省的な働きである。『新キリスト教保育指針』第1部Ⅱより抜粋(社団法人キリスト教保育連盟発行)			一人ひとりがかけがえのない存在であること、一人ひとりが違った存在であることを尊重する関わりの実現を目指す。個々に対応するために必要に応じた合理的配慮にも開かれた考え方を保育者が持つよう努める。			創造的な思考や主体的な生活態度などの基礎を培う。小学校生活や学習への円滑な接続に向けて、保育者と教師、園児と小学生などの交流・意見交換・合同研究等の機会を設ける。		園児の生活全体を豊かにするために家庭との連携を密にする。日頃より園生活の様子を積極的に小出し伝え、家庭からの連絡帳記入等による情報交換を通して、園児の成長状況把握に努める。園からは園生活のしおり・園だより・HP等により情報提供する。子育て仲間として保護者同士のつながりを大切に、園児をみんなで育てようとする環境を醸成する。		本園に在園する期間、一人ひとりが成長発達することを旨とするともに、子ども社会の成長も目指す。クラスや保育部・教育部とどまらず、折に触れて異年齢交流の機会をもち、同じ園の仲間としての意識が強まるよう心がける。カリキュラムマネジメントとしては、幼稚園時代の教育内容を生かしつつ0歳児から2歳児保育の理解に努め、連続性のある教育・保育内容が子どもの益につながるよう、計画・実践・評価反省・改善を積み重ねる。		
教育及び保育の基本と目標		(1)生活や活動体験を十分に積み重ねる (2)自己表現したり自己発揮することが受け入れられる環境構成に努め、乳幼児期にふさわしい生活を展開する (3)遊びを通じた教育・保育を中心として5領域のねらいを達成する (4)園児一人ひとりの発達の課題に即した教育・保育内容を実践する (5)自立心・主体性・自己肯定感・探求心が育っていくよう個と集団の育成を図る										
養護		年齢	乳児	1歳児(満1歳以上)	2歳児(満3歳含む)	3歳児	4歳児	5歳児				
		生命の保持	生理的欲求の充実に努める	生活リズムの形成を促す	適度な運動と休息の充足	健康的な生活習慣の形成	運動と休息のバランスと調和を図る	健康・安全への意識の向上				
		情緒の安定	応答的な触れ合い情緒的な絆の形成	温かなやり取りによる心の安定	自我の育ちへの受容と共感	主体性の育成	自己肯定感の確立と他者の受容	心身の調和と安定により自信を持つ				
◎ねらい及び内容並びに配慮事項					(この教育は教育課程に係る1日4時間、年39週を下回らない学校教育のこと)							
教育・保育(園児が環境に関わって経験する事項)		(乳児) 三つの視点	乳児保育	(満1-2歳児) 5領域	1歳児(満1歳以上) 保育	2歳児(満3歳未満) 保育	(満3-5歳児) 5領域	3歳児(満3歳以上) 教育・保育	4歳児 教育・保育	5歳児 教育・保育	■幼児期の終わりまでに育ってほしい姿10項目 ■教育・保育において育みたい資質・能力の3本の柱	
		健やかに伸び伸びと育つ	・身体機能の発達 ・食事睡眠等の生活のリズム感覚の芽生え	健康	・歩行の確立による行動範囲の拡大	・排泄の確立 ・運動、指先の機能の発達	健康	・意欲的な活動 ・基本的な生活習慣の確立	・健康への関心 ・体全体の協応運動	・健康増進とさらなる挑戦への意欲		
		身近な人と気持ち通じ合う	・特定の大人との深い関わりによる愛着心の形成 ・喃語の育みと応答による言葉の芽生え		人間関係	・周囲の人への興味、関心の広がり		・自己主張の表出 ・友達との関わりが増大	人間関係	・道徳性の芽生えと並行遊びの充実		
		身近なものとの関わり感性が育つ	・身近な環境への興味を持つ ・身体の諸感覚認識による表現	環境	・好奇心を高める	・自然事象への積極的な関わり	環境	・探究心に基づいた自然事象への積極的な関わり	・探究心に基づいた社会事象への関心の高まり	・探究心に基づいた社会・自然事象へのさらなる関心と生活への取り入れ		
		言葉	・言葉の獲得 ・話しはじめ	・言葉のやり取りの楽しさ	言葉	・言葉の美しさ、楽しさへの気付き ・生活の中での必要な言葉の理解と使用	・伝える力、聞く力の獲得	・文字や数字の獲得による遊びの発展				
表現	・いろいろな素材を楽しむ	・象徴機能の発達とイメージの膨らみ	表現	・自由な表現と豊かな感性の育ち	・豊かな感性による表現	・ダイナミックな表現 ・感動の共有						
健康支援		食育の推進			環境、衛生・安全管理			子育て支援事業	地域社会との交流	災害への備え		
<ul style="list-style-type: none"> ・健康及び発育発達状態の定期的、継続的な把握 ・年2回の園医による健康診断(内科・歯科) ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策のための体調観察票記入と提出 ・登園時及び保育中の体調観察、また異常が認められたときの適切な対応 ・年間保健指導計画(年齢別参照) ・年1回職員健康診断及び毎月の検便(栄養士・調理員・調乳担当者・給食配膳者) 		<ul style="list-style-type: none"> ・友だちや保育者と一緒に、給食を感謝して美味しく食べる時間を楽しむ ・栄養バランスを考えた自園給食の提供に携わる給食関係者の働きに関心を持つ ・炊きたて米飯・作り立て料理・手作りおやつ等の味わいや、旬の食材や行事食を楽しむ ・アレルギー対応食を提供し、互いが配慮しながら安全な食卓を実現する ・菜園づくりを通して土や作物への関心を高め、食材を育てたり収穫する人々に対して感謝の気持ちを抱く ・地産地消で食卓が整えられている場合、関心を向けたり話題にするよう努める 			<ul style="list-style-type: none"> ・施設内外の設備、用具等の清掃及び消毒 ・施設内外の設備、用具等の安全管理及び自主点検 ・子ども及び全職員の清潔保持 ・感染予防対策指針の作成と実施及び保護者との情報共有 ・新型コロナウイルス・インフルエンザ・ノロウイルスへの対応 ・トイレや水回りの衛生管理に努める ・安全教育年間計画(月別参照) ・警察署の指導による交通安全教室の実施 ・東門と南門の安全確保(開放時には必ず職員が監視に立つ) ・年2回外部業者による消防設備点検 			<ul style="list-style-type: none"> ・一時預かり保育(幼稚園型)「こあら」「おやこひろば」遊びと参加者間の交流を中心とした2歳児親子教室 ・「おはなしひろば」お話を中心とした親子サークル ・一時預かり保育(一般型)「ぼんだ」 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設見学や施設訪問 ・園外保育 ・教育実習生及び高校生保育体験(ボランティア・インターンシップ) ・幼小交流 ・農園のジャガイモ畑での芋植えと収穫体験 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練・防災訓練(火災、地震、不審者対応)の実施(毎月) ・消防署視察 ・消防訓練の実施 ・被災時における対応と備蓄 ※年2回外部業者による消防設備点検 ・大門沢川の氾濫…浸水の災害 ・日頃から子どもの身長より高い位置に物を置かない、避難経路を塞いでいないかを点検する ・災害発生時には避難等対応について、全館放送により速やかに周知する 		
情報公開等		ホームページ開設(お知らせ、園の歴史、園児募集、子育て支援事業、口頭詩、一日の流れ、主な行事、寄附行為、2019年度決算書、2020年度予算書、学校評価委員会評価結果報告書)			本園の特色		1.キリスト教保育を通して感謝の心、祈る心、自分と同じように他者を受容する心を育む。 遊びや生活による体験学習を積み重ね、自ら学ぶ力や良い習慣が身につくことを大切にする。 全自園給食を実施し、作り手の見える食事や保育者と一緒に感謝しておいしく食べる。 城や旧開智学校が近く恵まれた環境にあり、身近な自然から季節の移り変わりを楽しむ。 親子対象の「おやこひろば」や「おはなしひろば」の開催、一時預かり保育の実施など地域の子育てセンターとしての役割を担う。					
地域の実態に対応した保育事業と行事への参加		地域の祭りや行事などに関心を持つ(新型コロナウイルス感染状況によっては、移動や集会を避けるようにする)										
自己評価等		法人による適切な施設運営管理の評価と監査 幼保連携型認定こども園としての評価(保護者アンケートの実施・学校関係者評価委員会の開催) 保育教諭等の評価(保育計画と反省・評価・改善、子どもの成長記録と評価) 危機管理マニュアルの習得、ヒヤリハット報告に基づいた事故防止と危険回避の相互学習			研修計画		幼保連携型認定こども園教育・保育要領を学ぶ園外・園内研修 キリスト教保育指針を学ぶ園外・園内研修 教育部保育部に一貫した保育を行うための研修 上級資格取得のための大学・大学院への派遣 先進地視察研修 キャリアアップ研修への計画的な参加(乳児保育、特別支援教育、食育・アレルギー、保健衛生・安全対策、環境教育、保護者支援、地域子育て支援、等)					